

1

- (a) 〔導出過程〕ばねの縮みが r の場合に、Aが壁から受ける垂直抗力を N とすると、Aの運動方程式水平成分は $0 = N - kr \therefore N = kr$ 。よってBの運動が始まり r が l から減少すると、 $r = 0$ のとき $N = 0$ となり、その直後Aは壁から離れる。よってBについてエネルギー保存則は

$$\frac{m}{2}v_0^2 = \frac{k}{2}l^2$$

となり、これを解く。

$$〔答〕 \quad v_0 = l\sqrt{\frac{k}{m}}$$

- (b) 〔導出過程〕 $v_P = \frac{1}{2}(0 + v_0) = \frac{1}{2}v_0$

$$〔答〕 \quad v_P = \frac{1}{2}v_0$$

- (c) 〔導出過程〕PB間の距離を x とすると、点Pは中点ゆえAB間の距離は $2x$ で、ばねの縮みは $L - 2x$ 。従って中点からみた(重心系での)Bの運動方程式は

$$m\frac{d^2x}{dt^2} = +k(L - 2x) \quad \therefore \frac{d^2x}{dt^2} = -\frac{2k}{m}\left(x - \frac{L}{2}\right)$$

これより x は角振動数 $\omega = \sqrt{\frac{2k}{m}}$ 、振動中心 $x = \frac{L}{2}$ の単振動。 $t = 0$ で $x = \frac{L}{2}$ 、 $\frac{dx}{dt} = v_0 - v_P = \frac{v_0}{2}$ を満たす解は、 $x = \frac{L}{2} + \frac{v_0/2}{\omega} \sin(\omega t)$ 。 $2x = L$ となる正で最小の t は、 $t = t_1 = \frac{\pi}{\omega}$ 。

$$〔答〕 \quad t_1 = \pi\sqrt{\frac{m}{2k}}$$

- (d) 〔導出過程〕 $t_2 = 2t_1$ ゆえ、考える時刻は $t = (t_1 + t_2)/2 = 3t_1/2 \therefore \omega t = 3\pi/2$ 。このとき $x = \frac{L}{2} - \frac{v_0/2}{\omega} \therefore L_S = 2x = L - \frac{v_0}{\omega}$ 。 ω と v_0 は代入する。

$$〔答〕 \quad L_S = L - \frac{l}{\sqrt{2}}$$

- (e) 〔導出過程〕 t_2 は単振動の1周期ゆえ、 $t = t_2$ のAの速度は $t = 0$ での値と同じ。

$$〔答〕 \quad v_A = 0$$

- (f) 〔導出過程〕 $t = t_2$ における物体Aの床に対する速度は0ゆえ、撃力を加えた直後にPが静止したことから、撃力を加えた直後のBの床に対する速度も0。撃力を加える直前のBの速度は v_0 だから、加えた力積の大きさは $I = mv_0 - 0$ 。

$$〔答〕 \quad I = mv_0$$

[A] (a) [導出過程] 容量が $\frac{\epsilon_0 S}{D}$ から $\frac{\epsilon_0 S}{D+d}$ に変化し、電気量は Q のままなので、

$$\Delta U = \frac{Q^2}{2\frac{\epsilon_0 S}{D+d}} - \frac{Q^2}{2\frac{\epsilon_0 S}{D}} = \frac{Q^2}{2\epsilon_0 S} d \quad \text{[答]} \quad \Delta U = \frac{Q^2}{2\epsilon_0 S} d$$

(b) [導出過程] 電極間の電場は一定ゆえ、外力が加えた仕事は $F_E d$ と表せる。これが ΔU に等しいから $F_E = \Delta U/d$ [答] $F_E = \frac{Q^2}{2\epsilon_0 S}$

(c) [導出過程] 上電極の座標を x とすると、上電極の運動方程式は

$$m \frac{d^2 x}{dt^2} = k(D-x) - mg - F_E \quad \therefore \frac{d^2 x}{dt^2} = -\frac{k}{m} \left(x - D + \frac{mg + F_E}{k} \right)$$

これより x は単振動で振動中心は $x = x_c = D - \frac{mg + F_E}{k}$ 。初期条件より振幅は $A = D - x_c$ だから、 x の最小値は $x_m = x_c - A = 2x_c - D$ 。電極間の電場は $E = \frac{Q}{\epsilon_0 S}$ のままだから求める電位は $V_1 = E x_m$ 。

$$\text{[答]} \quad V_1 = \frac{Q}{\epsilon_0 S} \left(D - \frac{2mg}{k} - \frac{Q^2}{\epsilon_0 S k} \right)$$

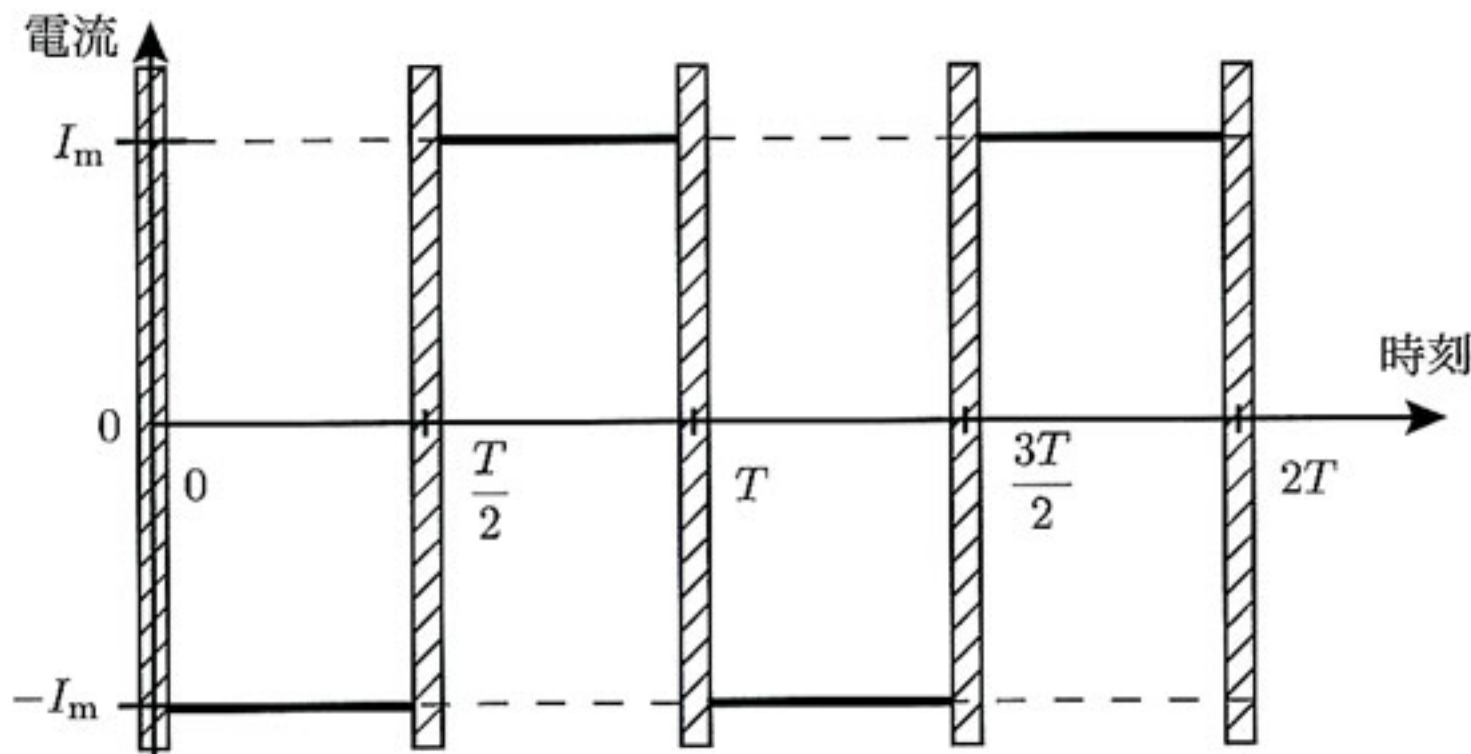
[B] (d) [導出過程] $C_r = 3\epsilon_0 \frac{S}{D}$, $C_b = \epsilon_0 \frac{S}{\frac{D}{2} + b}$ を用いて

$$C' = \left(\frac{1}{C_r} + \frac{1}{C_b} \right)^{-1} = \frac{3\epsilon_0 S}{2D} \left(1 + \frac{3b}{2D} \right)^{-1} = \frac{3\epsilon_0 S}{2D + 3b}$$

また回路の方程式 $\frac{Q'}{C'} = V_0$ より $Q' = C' V_0$ 。 [答] $C' = \frac{3\epsilon_0 S}{2D + 3b}$, $Q' = \frac{3\epsilon_0 S V_0}{2D + 3b}$

(e) [答] (ア) $C_0 V_0$ (イ) $\frac{3b}{2D}$

(f) [グラフ]



$$\text{[答]} \quad I_m = C_0 V_0 \frac{3a}{DT}$$

- (a) 〔導出過程〕 圧力 p , 温度 T_0 の大気 n モルの体積を V とすると, 状態方程式は

$$pV = nRT_0 \quad \therefore (\text{モル数密度}) \frac{n}{V} = \frac{p}{RT_0} \quad \therefore \rho = \frac{nm}{V} = \frac{mp}{RT_0} \quad [\text{答}] \quad \rho = \frac{mp}{RT_0}$$

- (b) 〔導出過程〕 気球内ガスの体積 V_1 は状態方程式より $V_1 = \frac{nRT_1}{p_0}$ 。浮力は $\rho_0 = \frac{mp_0}{RT_0}$ を用いて $f_b = \rho_0 V_1 g$ 。

全重力は $f_g = (M + nm)g$ 。 $f_b = f_g$ より M を求める。 〔答〕 $M = \left(\frac{T_1}{T_0} - 1\right) nm$

- (c) 〔導出過程〕 内部エネルギー変化は $\Delta U = \frac{5}{2}nR(T_2 - T_1)$ 。気球内ガスがした仕事は, 状態方程式も用いて

$$W = p_0(V_2 - V_1) = nR(T_2 - T_1)$$

以上を用いて熱力学第1法則より $Q = \Delta U + W$ 。 〔答〕 $Q = \frac{7}{2}nR(T_2 - T_1)$

- (d) 〔導出過程〕 問(b)のときの張力は0。その後, 重力一定のまま浮力のみが増加したから, 求める張力は浮力の増加分で,

$$\Delta f_b = \rho_0(V_2 - V_1)g = \frac{mp_0}{RT_0} \left(\frac{nRT_2}{p_0} - \frac{nRT_1}{p_0} \right) g = \frac{T_2 - T_1}{T_0} nmg \quad [\text{答}] \quad \text{張力} : \frac{T_2 - T_1}{T_0} nmg$$

- (e) 〔導出過程〕 気球が止まった高さでの大気の圧力を p_0' , 密度を ρ_0' とすると, 問(a)より $\rho_0' = \frac{mp_0'}{RT_0}$ 。止まった

た気球の体積 V_3 は状態方程式より $V_3 = \frac{nRT_3}{p_0'}$ 。よって浮力は $f_b' = \rho_0' V_3 g = \frac{T_3}{T_0} nmg$ 。つりあい $f_b' = f_g$

より T_3 を求めると, $T_3 = \left(1 + \frac{M}{nm}\right) T_0$ 。 M に問(b)の値を代入する。 〔答〕 $T_3 = T_1$

- (f) 〔導出過程〕 断熱変化ゆえ, 熱力学第1法則より, W_{23} は内部エネルギーの減少分に等しいから,

$$W_{23} = \frac{5}{2}nR(T_2 - T_3) = \frac{5}{2}nR(T_2 - T_1) \quad [\text{答}] \quad W_{23} = \frac{5}{2}nR(T_2 - T_1)$$

- (g) 〔答〕 ③